

記入例

活動日誌

日 時	令和○年 5月25日（日）					8時00分～11時00分				
活動区分 及び内容 (該当に○)	鳥獣被害防止対策			農道の管理（草刈り等）		○				
	共同利用機械・施設			水路の管理（草刈り、泥上げ等）		○				
	多面的機能増進活動			農地の管理（畦畔の草刈り等）						
	土地利用調整・法人設立関係			その他		○				
	販売促進・交流促進									
	(その他の場合：具体的活動内容)		上記以外の活動の場合、具体的に記入すること							
場 所 (該当に○)	上越北農道		○							
	上越南農道		○							
	木田用水路		○							
				その他						
	(その他の場合)		賃金及び借り上げ料単価は、内規で示す単価と一致すること							
参加者氏名		単価・数量等		合計	参加者氏名		単価・数量等		合計	
参加者に○	賃金	借り上げ料	参加者に○		賃金	借り上げ料				
○○ ○○	○	3,000	500	3,500						
×× ××										
△△ △△	○	3,000	500	3,500						
■■ ■■	○	3,000	1,000	4,000						
(多面的機能支払交付金を充てる場合)					多面的機能支払交付金の活動と重なる場合、活動日誌を作成し、賃金は0円で記載すること					
△△ △△				0						
■■ ■■				0						
総 計	参加者	3 人		賃金	9,000 円		借り上げ料	2,000 円		
活動に係る 物品等 ※（支出No.も 記入のこと）	品 名	金額	数量	計	支出No.	支出伝票と整合すること				
	賃金			9,000円	1					
	チェーンソー借り上げ料			2,000円	2					
	草刈機チップソー	2,100	3	6,300円	3					
合 計				17,300円						
その他 (特記事項)	水路脇の雑木の伐採にあたり、■■ ■■からチェーンソー(半日:500円)を借り上げた。 当初予定に無かった活動については、特記事項として記入すること									
日誌記録者氏名	△△ △△									

※ 場所は、協定書「（別紙様式3）協定対象施設の管理方法」の施設を記入すること

※ 活動状況がわかる写真を添付すること

活動写真



上越北農道

作業前



上越北農道

作業中



上越北農道

作業後

記入例

中山間地域等直接支払交付金 加算措置取組状況報告書（棚田地域振興活動加算）

集落協定名	●●集落協定	取組年度	令和 2 年度から令和 6 年度まで	報告年度	令和 〇 年度	当年度 加算金額	2,000,000円
-------	--------	------	--------------------	------	---------	-------------	------------

年度	年度別取組状況					事務費	積立金	
	① 棚田等の保全	② 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮	③ 棚田を核とした棚田地域の振興					
目標	【生産性・付加価値の向上】 ・共同作業の実施。無人ヘリ、ドローンによる共同防除を行う。 (R2年度 ●●地区4集落の20％を防除→R6年度 ●●地区4集落の60％を防除)		【販売の拡大】 ・インターネット販売の推進(ホームページを新たに開設) ・独自米袋を作成し、中山間地米のブランド販売を開始する(R2年度なし→R6年度 インターネット販売を開始。独自米袋による販売も行った。)		【集落機能の維持】 ・共同作業、地域助け合い活動の推進(R2年度なし→R6年度雪下ろし支援隊10人を確保、除雪支援3軒以上)			
	協定書第9の記載内容を転記する		棚田地域振興協議会の事務費を記入する					
令和2年度	防除効果を高めるために地区全体の適期防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約15ha、30％。交付金100,000円を今後の防除面積の拡大に伴う費用の増加に備えて積立てた。		独自米袋を作成した。また、イベントに出店し、独自米袋を使った中山間地米の販売を開始した。		雪下ろし支援隊の体制について、地区内で協議し、確保する隊員が担う役割や除雪支援世帯を整理した。雪下ろし支援隊員◆人を確保した。◆軒を計◆回、除雪支援した。交付金800,000円を機械購入のために積立てた。		各取組のための事務局費用、消耗品等に支出した。	① 100,000円 ② 0円 ③ 800,000円
	加算金支出額	400,000円	加算金支出額	200,000円	加算金支出額	200,000円	300,000円	900,000円
令和3年度	防除効果を高めるために地区全体の適期防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約20ha、40％。交付金100,000円を今後の防除面積の拡大に伴う費用の増加に備えて積立てた。		インターネット販売をするため、パソコンの購入や通信機器環境を整備した。また、独自米袋を使った中山間地米のインターネット販売を開始した。引き続き、イベント出店による中山間地米の販売も行った。		雪下ろし支援隊の体制について、地区内で協議し、確保する隊員が担う役割や除雪支援世帯を整理した。新たに雪下ろし支援隊員◆人を確保し、計10人となった。◆軒を計◆回、除雪支援した。交付金600,000円を機械購入のために積立てた。		各取組のための事務局費用、消耗品等に支出した。	① 100,000円 ② 0円 ③ 600,000円
	加算金支出額	500,000円	加算金支出額	300,000円	加算金支出額	200,000円	300,000円	700,000円
令和4年度	防除効果を高めるために地区全体の適期防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約25ha、50％。交付金100,000円を今後の防除面積の拡大に伴う費用の増加に備えて積立てた。		引き続き、独自米袋を使った中山間地米のインターネット販売及び、イベント出店による中山間地米の販売を行った。		◆軒を計◆回、除雪支援した。交付金600,000円を機械購入のために積立てた。		各取組のための事務局費用、消耗品等に支出した。	① 100,000円 ② 0円 ③ 600,000円
	加算金支出額	600,000円	加算金支出額	200,000円	加算金支出額	200,000円	300,000円	700,000円
令和5年度	防除効果を高めるために地区全体の適期防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約28ha、56％。交付金100,000円を今後の防除面積の拡大に伴う費用の増加に備えて積立てた。		引き続き、独自米袋を使った中山間地米のインターネット販売及び、イベント出店による中山間地米の販売を行った。		◆軒を計◆回、除雪支援した。交付金600,000円を機械購入のために積立てた。		各取組のための事務局費用、消耗品等に支出した。	① 100,000円 ② 0円 ③ 600,000円
	加算金支出額	650,000円	加算金支出額	200,000円	加算金支出額	150,000円	300,000円	700,000円
令和6年度	防除効果を高めるために地区全体の適期防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約35ha、70％となり、目標を達成した。		引き続き、独自米袋を使った中山間地米のインターネット販売及び、イベント出店による中山間地米の販売を行い目標を達成した。 (参考)R6売上:1,000,000円		5軒を計10回、除雪支援し、目標を達成した。 目標に対する活動内容や達成状況、支出金額について記入する		各取組のための事務局費用、消耗品等に支出した。	① 0円 ② 0円 ③ 0円
	加算金支出額	750,000円	加算金支出額	200,000円	加算金支出額	750,000円	300,000円	円

※総会資料、取組状況がわかる活動記録などを添付してください。

記入例

中山間地域等直接支払交付金 加算措置取組状況報告書

協定名	●●集落協定		報告年度	令和 ○ 年度
加算名称	超急傾斜農地保全管理加算		当年度 交付金額	3,200,000 円
取組年度	令和 2 年度から令和 6 年度まで		協定書第9の記載内容を転記する	
目標	[超急傾斜農地の保全] ・当該農地の法面について、畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施する。 ・農作業の安全性を確保するため、圃場進入路の緩傾斜への改良等を実施する。 ・当該農地の土砂流入、流出を防ぐため、水路の定期的な見回りと必要に応じ泥上げ等を行う。 ・農作物等の鳥獣害による被害防止のため、電気柵の設置、点検、補修等を行う。 [農産物の販売促進等] ・当該農地を含む協定農用地で生産される農作物を、地域のイベントや直売施設等を活用してPRする。 ・当該農地を含む協定農用地で生産される農作物をPRするため、共通パッケージを作成し、農産物販売時に活用する。			
年度別 取組状況	年度	取組内容	加算金 支出金額	達成※
	令和2年度	[超急傾斜農地の保全]各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検を行った。 [農産物の販売促進等]共通パッケージを作成し、農産物販売に活用した。	3,200,000 円	
	令和3年度	[超急傾斜農地の保全]各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。圃場進入路の緩傾斜への改良、水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検、補修を行った。 [農産物の販売促進等]〇〇市に出店し、農作物をPRするとともに、共通パッケージを作成し、販売に活用した。	3,200,000	
	令和4年度	[超急傾斜農地の保全]各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。圃場進入路の緩傾斜への改良、水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検、補修を行った。 [農産物の販売促進等]〇〇市に出店し、農作物をPRするとともに、共通パッケージを作成し、販売に活用した。	3,200,000	
	令和5年度	[超急傾斜農地の保全]各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検、補修を行った。 [農産物の販売促進等]〇〇市に出店し、農作物をPRするとともに、共通パッケージを作成し、販売に活用した。		
	令和6年度	[超急傾斜農地の保全]各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。圃場進入路の緩傾斜への改良、水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検、補修を行った。 [農産物の販売促進等]〇〇市に出店し、農作物をPRするとともに、共通パッケージを作成し、販売に活用した。	3,200,000	
目標に対する活動内容や達成状況、支出金額（積立以外）について記入する 活動内容がわかる写真等を貼り付けるか、別紙で作成する。 関係写真貼付け欄 (別紙のとおり)				

※写真のほか、打合せの記録など取組の状況がわかる書類を添付してください。

記入例

中山間地域等直接支払交付金 加算措置取組状況報告書

協定名		●●集落協定		報告年度	令和 6 年度
加算名称		集落協定広域化加算		当年度 交付金額	2,000,000 円
取組年度		令和 2 年度から令和 6 年度まで			
目標		[主導的な役割を担う人材の確保] 農業生産活動等をマネジメントする人材を3人確保する。 [広域化により実現する農業生産活動を維持するための体制作り] 担い手への農地集積の取組拡大に向けた協定参加者間の調整を行う(協定農用地面積300,000㎡の5%以上の増加15,000㎡)。 現行の集落協定参加者の担い手へ増加15,000㎡以上の農地を集積し、耕作(耕起・代かき・田植え・稲刈り)を継続する。			
年度別 取組状況	年度	取組内容		加算金 支出金額	達成※
	令和2年度	・農業生産活動等をマネジメントする人材を人・農地プランとの整合性を図り、3人確保した。 ・担い手への農地集積の取組拡大に向けた協定参加者間の調整を行った。 氏名 ●●●●●(A集落) R元年度実績10,000㎡→R2年度実績11,000㎡(+1,000㎡) ▲▲▲▲▲(B集落) R元年度実績80,000㎡→R2年度実績83,000㎡(+3,000㎡) ◆◆◆◆◆(C集落) R元年度実績30,000㎡→R2年度実績32,000㎡(+2,000㎡) 合計 R元年度実績120,000㎡→R2年度実績126,000㎡(+6,000㎡)		2,000,000	
	令和3年度	・担い手への農地集積の取組拡大に向けた協定参加者間の調整を行った。 氏名 ●●●●●(A集落) R2年度実績11,000㎡→R3年度実績14,000㎡(+3,000㎡) ▲▲▲▲▲(B集落) R2年度実績83,000㎡→R3年度実績83,000㎡(±0㎡) ◆◆◆◆◆(C集落) R2年度実績32,000㎡→R3年度実績34,000㎡(+2,000㎡) 合計 R2年度実績126,000㎡→R3年度実績131,000㎡(+5,000㎡)		2,000,000	
	令和4年度	・担い手への農地集積の取組拡大に向けた協定参加者間の調整を行った。 氏名 ●●●●●(A集落) R3年度実績14,000㎡→R4年度実績17,000㎡(+3,000㎡) ▲▲▲▲▲(B集落) R3年度実績83,000㎡→R4年度実績83,000㎡(±0㎡) ◆◆◆◆◆(C集落) R3年度実績34,000㎡→R4年度実績35,000㎡(+1,000㎡) 合計 R3年度実績131,000㎡→R4年度実績135,000㎡(+4,000㎡)		2,000,000	
	令和5年度	・担い手への農地集積の取組拡大に向けた協定参加者間の調整を行った。 氏名 ●●●●●(A集落) R4年度実績17,000㎡→R5年度実績19,000㎡(+2,000㎡) ▲▲▲▲▲(B集落) R4年度実績83,000㎡→R5年度実績84,000㎡(+1,000㎡) ◆◆◆◆◆(C集落) R4年度実績35,000㎡→R5年度実績36,000㎡(+1,000㎡) 合計 R4年度実績135,000㎡→R5年度実績139,000㎡(+4,000㎡)		2,000,000	
	令和6年度	・担い手への農地集積の取組拡大に向けた協定参加者間の調整を行った。 氏名 ●●●●●(A集落) R5年度実績19,000㎡→R6年度実績21,000㎡(+2,000㎡) ▲▲▲▲▲(B集落) R5年度実績84,000㎡→R6年度実績85,000㎡(+1,000㎡) ◆◆◆◆◆(C集落) R5年度実績36,000㎡→R6年度実績37,000㎡(+1,000㎡) 合計 R5年度実績139,000㎡→R6年度実績143,000㎡(+4,000㎡) ・協定農用地面積300,000㎡の5%以上にあたる23,000㎡が担い手に集約され、目標が達成できた。		2,000,000	
関係写真貼付け欄 (別紙のとおり)					

※写真のほか、打合せの記録など取組の状況がわかる書類を添付してください。

記入例

中山間地域等直接支払交付金 加算措置取組状況報告書

協定名	●●集落協定		報告年度	令和 6 年度
加算名称	集落機能強化加算	当年度 交付金額	2,000,000 円	
取組年度	令和 2 年度から令和 6 年度まで			
目標	[農産物の庭先集荷サービス] ・出荷手段に乏しい生産者に代わり、出荷を行う「庭先集荷サービス」に取組むことで、新たな「やい かい・生きがい」を生み出し、活力の向上を図る。 毎年度の販売額200万円以上 [高齢者の買い物支援] ・運転免許のない高齢者や長距離運転に不安がある高齢者に対して、移動手段を確保し、定期的に 買い物支援をすることで、安心して暮らせることができるとともに、引きこもりを解消し、住民同士の 交流を図る。 年間利用者延べ120人以上			
年度別 取組 状況	年度	取組内容	加算金 支出金額	達成※
	令和2年度	[農産物の庭先集荷サービス] ・利用登録者 8人 ・出荷先 旬菜交流館あるるん畑 ・出荷期間 5月1日～10月31日まで ・販売額150万円 [高齢者の買い物支援] ・利用登録者 10人(年間利用者延べ100人) ・回数 24回(月2回×12か月) ・主な行先 ナルス浦川原店、イオン上越店	2,000,000 円	
	令和3年度	[農産物の庭先集荷サービス] ・利用登録者 11人 ・出荷先 旬菜交流館あるるん畑 ・出荷期間 5月1日～10月31日まで ・販売額150万円 [高齢者の買い物支援] ・利用登録者 15人(年間利用者延べ130人) ・回数 24回(月2回×12か月) ・主な行先 ナルス浦川原店、イオン上越店	2,000,000	
	令和4年度	[農産物の庭先集荷サービス] ・利用登録者 9人(死亡による減) ・出荷先 旬菜交流館あるるん畑 ・出荷期間 5月1日～10月31日まで ・販売額150万円 [高齢者の買い物支援] ・利用登録者 14人(死亡による減)(年間利用者延べ125人) ・回数 24回(月2回×12か月) ・主な行先 ナルス浦川原店、イオン上越店	2,000,000	
	令和5年度	[農産物の庭先集荷サービス] ・利用登録者 11人(新規登録者募集による増) ・出荷先 旬菜交流館あるるん畑 ・出荷期間 5月1日～10月31日まで ・販売額180万円 [高齢者の買い物支援] ・利用登録者 14人(年間利用者延べ125人) ・回数 24回(月2回×12か月) ・主な行先 ナルス浦川原店、イオン上越店	2,000,000	
	令和6年度	[農産物の庭先集荷サービス] ・利用登録者 11人(新規登録者募集による増) ・出荷先 旬菜交流館あるるん畑 ・出荷期間 5月1日～10月31日まで ・販売額200万円に達し、目標を達成した。 [高齢者の買い物支援] ・利用登録者 14人(年間利用者延べ125人) ・回数 24回(月2回×12か月) ・主な行先 ナルス浦川原店、イオン上越店 ・年間利用者を述べ120人以上確保し、目標を達成した。	2,000,000	
関係写真貼付け欄 (別紙のとおり)				

※写真のほか、打合せの記録など取組の状況がわかる書類を添付してください。

記入例

中山間地域等直接支払交付金 加算措置取組状況報告書

協定名		●●集落協定		報告年度	令和 6 年度
加算名称		生産性向上加算		当年度 交付金額	1,500,000 円
取組年度		令和 2 年度から令和 6 年度まで			
目標		[農業生産性の向上を図る取組] ・ドローンを新規で1台導入し、オペレーターを2人育成することで集落内での運用体制を確立する。それとともに、ドローンを積んだ軽トラックが安全に各ほ場を回れるよう、バックホーを新規で1台導入し、農道等(付随する水路含む)の補修を行うことにより、共同防除面積の拡大を目指す(令和元年度:0ha→令和6年度:60ha)。			
年度別 取組 状況	年度	取組内容		加算金 支出金額 円	達成※
	令和2年度	[農業生産性の向上を図る取組] ・メーカーが主催するドローンのオペレーターの養成研修会に2人が参加し、所定の課程を修了した。 ・今まで個人対応による防除だったが、ドローン1台の導入をきっかけに集落で共同防除に移行を進めた。これによって、防除作業の効率化と労力軽減が図られた。共同防除面積50ha		1,500,000	
	令和3年度	[農業生産性の向上を図る取組] ・引き続きドローン1台による共同防除を実施し、防除作業の効率化と労力軽減が図られた。共同防除面積50ha		1,500,000	
	令和4年度	[農業生産性の向上を図る取組] ・引き続きドローン1台による共同防除を実施し、防除作業の効率化と労力軽減が図られた。共同防除面積52ha ・ドローンを積んだ軽トラックが安全に各ほ場を回れるよう、バックホーを新規で1台導入し、農道等(付随する水路含む)の補修を行った。農道補修距離1.5km		1,500,000	
	令和5年度	[農業生産性の向上を図る取組] ・引き続きドローン1台による共同防除を実施し、防除作業の効率化と労力軽減が図られた。共同防除面積55ha		1,500,000	
	令和6年度	[農業生産性の向上を図る取組] ・引き続きドローン1台による共同防除を実施し、防除作業の効率化と労力軽減が図られた。共同防除面積60haに拡大し、目標を達成した。		1,500,000	
関係写真貼付け欄 (別紙のとおり)					

※写真のほか、打合せの記録など取組の状況がわかる書類を添付してください。

令和◆年度 中山間地域等直接支払交付金 収支決算書

記入例

本体交付金と加算措置に分けて金額を記入する

集落協定名：
代表者名：

○○集落協定
△△ △△

1. 収入

項 目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	説 明
1. 交付金	3,000,000	3,000,000	0	本体交付金 2,000,000円 共同取組活動 1,000,000円 個人配分 1,000,000円 加算措置 1,000,000円 棚田地域振興活動加算 500,000円 超急傾斜農地保全管理加算 集落協定広域化加算 集落機能強化加算 生産性向上加算 500,000円 (基金名) (金額) 水路高上り基金 300,000円 (用途) (金額) 春期普請資金等 150,000円
2. 積立基金取り崩し額	300,000	300,000	0	
3. 前年度繰越金	150,000	150,000	0	
合 計	3,450,000	3,450,000	0	

目的別積立金の取り崩し額を記入

2. 支出

項 目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	説 明
1. 役員等の各担当者の活動に対する経費	98,000 (98,000)	98,000 (98,000)	0 (0)	(内容) (金額) 加算措置の支出に「○」 代表 50,000円 副代表 10,000円 会計・書記 30,000円 役員 5,000円 市主催説明会(2人出席) 3,000円 棚田 超急 広域 機能 生産
・役員報酬	95,000 (95,000)	95,000 (95,000)	0 (0)	
・研修会等費	3,000 (3,000)	3,000 (3,000)	0 (0)	
2. 農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動に対する経費	820,000 (820,000)	820,000 (820,000)	0 (0)	
・鳥獣害防止対策費	110,000 (110,000)	110,000 (110,000)	0 (0)	電気柵設置資金 50,000円 電気柵維持管理費 60,000円
・共同利用機械購入等費	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	0 (0)	共同機械整備修繕費 300,000円
・共同利用施設整備等費	50,000 (50,000)	50,000 (50,000)	0 (0)	共同利用施設整備費 50,000円
・多面的機能増進活動費	60,000 (60,000)	60,000 (60,000)	0 (0)	花植栽経費 30,000円 周辺林地の草刈り資金 30,000円
・土地利用調整関係費	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
・法人設立関係費	100,000 (100,000)	100,000 (100,000)	0 (0)	先進地視察関係費 100,000円 ○
・農産物等の販売促進関係費	200,000 (200,000)	200,000 (200,000)	0 (0)	棚田米パッケージ作成費 200,000円 ○
・都市住民との交流促進関係費	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
3. 水路、農道等の維持・管理等集落の協同取組活動に要する経費	600,000 (150,000)	600,000 (150,000)	0 (0)	農道・水路草刈り資金等 200,000円 水路高上り工事費 300,000円 水路の泥上げ 100,000円
・農道、水路管理費	600,000 (150,000)	600,000 (150,000)	0 (0)	
4. 農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費				
・農地管理費				
5. 毎年の積立額または次年度への繰越予定額	650,000 (650,000)	650,000 (650,000)	0 (0)	
・積立金	500,000 (500,000)	500,000 (500,000)	0 (0)	(基金名) (金額) ドローン購入積立金 500,000円 ○
・繰越金	150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	0 (0)	(用途) (金額) 春期普請資金等 150,000円
6. その他	282,000 (282,000)	282,000 (282,000)	0 (0)	棚田地域振興協議会事務費 30,000円 ○ 除雪支援隊活動費 170,000円 ○ 共同防除助成 82,000円
7. 個人配分	1,000,000 (1,000,000)	1,000,000 (1,000,000)	0 (0)	(金額) 個人配分 1,000,000円
合 計	3,450,000 (3,000,000)	3,450,000 (3,000,000)	0 (0)	

支出額のうち、本年度の交付金額を()書きとします。
例では、支出額600,000円のうち450,000円には、積立金の取り崩しや繰越金を充てているので、その残である150,000円を()書きにしています。

次年度への目的別積立金や繰越金を記入。
必ず、総会で合意形成を図ること。

加算措置の取組みに対する支出の場合は○を記入する

3. 収支状況

収入	支出	残金
3,450,000円 (3,000,000円)	3,450,000円 (3,000,000円)	0円 (0円)

上記の積立金、繰越金と整合すること
また、年度末残高は必ず、口座残高と一致すること

4. 積立金・繰越金の管理状況

基金の種別	年度始残高 ①	期中取崩額 ②	期中積立額 ③	年度末残高 ①-②+③	積立先
ドローン購入積立金			500,000円	500,000円	JAえちご上越 ○○支店
春期普請資金等	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円	JAえちご上越 ○○支店
合 計	150,000円	150,000円	650,000円	650,000円	※口座残高と一致確認

記入例

金 錢 出 納 簿

令和〇年度

実際に収入(振込日)・支出(購入日)があった日を記入すること

No. _____

年月日	No.	摘 要	収 入	支 出	残 高	項区分
令和6年4月1日	1	積立基金取り崩し	300,000		300,000	
令和6年4月1日	2	繰越金	150,000		450,000	
令和6年6月30日	3	農道・水路草刈り賃金等		150,000	300,000	
令和6年6月30日	4	水路の高上げ工事費		300,000	0	
令和6年7月26日	5	中山間地域等直接支払交付金7月概算払い	1,500,000		1,500,000	
令和6年7月28日	6	市主催説明会日当		3,000	1,497,000	
令和6年8月10日	7	電気柵設置賃金		50,000	1,447,000	
令和6年9月30日	8	電気柵維持管理費		60,000	1,387,000	
令和6年9月30日	9	共同機械整備修繕費		300,000	1,087,000	
令和6年9月30日	10	共同利用施設整備費		50,000	1,037,000	
令和6年9月30日	11	花代金		10,000	1,027,000	
令和6年9月30日	12	花植栽賃金		20,000	1,007,000	
令和6年9月30日	13	周辺林地の草刈り賃金		30,000	977,000	
令和6年10月30日	14	先進地視察関係費		100,000	877,000	
令和6年10月30日	15	棚田米パッケージ作成費		200,000	677,000	
令和6年11月30日	16	農道・水路草刈り賃金等		50,000	627,000	
令和6年11月30日	17	水路の泥上げ		100,000	527,000	
令和6年12月29日	18	棚田地域振興協議会事務費		30,000	497,000	
令和7年2月24日	19	除雪支援隊活動費		170,000	327,000	
令和7年2月24日	20	共同防除助成		82,000	245,000	
令和7年2月24日	21	中山間地域等直接支払交付金2月概算払い	1,500,000		1,745,000	
令和7年2月28日	22	個人配分		1,000,000	745,000	
令和7年2月28日	23	役員報酬		95,000	650,000	
令和7年3月31日	24	積立金(ローン購入)		500,000	150,000	
令和7年3月31日	25	繰越金(春期普請賃金等)		150,000	0	
			3,450,000	3,450,000		

収支決算書と金額が一致すること

記入例

収 入 調 書

令和 6 年度	令和 6 年 7 月 26 日 (金)				No. 5						
				代 表		副 代 表		会 計			
項目	交 付 金										
収支決算書の項目を記入する <table border="1"><tr><td>金</td><td>1,500,000 円</td></tr></table> 金銭出納簿と一致すること 但し、<u>中山間地域等直接支払交付金7月概算払い</u> として										金	1,500,000 円
金	1,500,000 円										

記入例

支 出 命 令 書

令和 6 年度	令和 6 年 9 月 30 日 (月)		No. 11	
下記の金額の支払いを命ずる。		代 表 	副 代 表 	会 計 
項目	農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動に対する経費			
支出費目	多面的機能増進活動費			
収支決算書の項目を記入す				
金	10,000 円		※	
但し、 花代金 として ※別紙、請求書・領収書のとおり				
金銭出納簿と一致				
【立替払いした場合】				
○○ 集落協定 代表者 様 上記の立替払いした金額を領収しました。 令和 6 年 9 月 30 日 住所 上越市… 氏名 ◇◇ ◇◇ 				

記入例

賃 金 明 細 書

(〇〇集落協定)

作 業 名	農道・水路草刈り賃金	電気橋設置	電気橋維持管理	作業名、作業日、支出命令No.を記入する			合 計	支払方法	受領印
作業日	〇月〇日	〇月〇日	〇月〇日						
支出No.	No.3	No.7	No.8	No.	No.	No.			
上越 太郎	50,000						50,000	現金	印
上越 次郎	50,000	25,000	30,000				105,000	現金	印
上越 三郎			10,000				10,000	口座	-
上越 四郎	50,000	25,000	20,000				95,000	現金	印
作業者を記入する									
合 計	150,000	50,000	60,000				260,000		

合計を記入する

現金渡しの場合は本人の受領印を、口座振り込みの場合は金融機関の受付印が押印された振込伝票の写し（ATMでの振込の場合は利用明細書の写し）を添付してください。

記入例

共用資產管理台帳

(集落協定名：○○集落協定)

[illegible]

記入例

令和 年 月 日

上越市長 様

●●集落協定

代表 ● ● ● ●

多面的機能発揮促進事業に関する計画の変更届出書

中山間地域等直接支払交付金に係る計画書の変更をしたいので、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する活動計画書」を添えて届け出ます。